11 情報

学校番号	303

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新・見てわかる社会と情報」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・限られた授業時間の中で効率的に学べるよう、座学においても ICT を活用する
・文書作成・表計算・プレゼンテーションソフトで自分の考えをまとめる
・協同的な学びにより、生徒自身がより高度な学習に挑戦することを支援する
・さまざまな課題について生徒自身が思考し、表現することを支援する

２　学習の到達目標

・情報の特徴と情報化が個人や社会に及ぼす影響を理解させる
・ICT 等を適切に活用して、情報を収集、処理、表現する能力を養う
・ICT 等を適切に活用して、効果的にコミュニケーションを行う能力を養う
・情報社会に積極的に参画する態度を育てる

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度	・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力	・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解
評価方法	ワークシート採点 制作物の観点別評価	ワークシート採点 制作物の観点別評価	制作物の観点別評価	ワークシート採点 制作物の観点別評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報の基礎学習	・ディジタル表現の仕組み ・コンピュータの操作方法 ・情報社会での個人の責任 ・情報セキュリティ ・情報の整理の仕方 ・インターネットの利用方法 ・著作権の理解 ・作品発表の仕方 ・プログラミングの仕組み ・基本的なアルゴリズム	○	○		○	a: コンピュータの仕組みに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b: 情報をディジタル化することの利点や問題点について考えることができる。 c: 情報をディジタル化することができる。 d: コンピュータ内部での情報の表し方や処理の仕組みを理解している。ディジタル化の利点について理解している。基本的なアルゴリズムを理解している。	ワークシート採点 制作物の観点別評価
2学期	修学旅行のおすすめ紹介	・文書作成ソフトの操作方法 ・ペイントソフトの操作方法 ・情報収集の仕方 ・データの保存方法 ・データの提出方法 ・作品発表の仕方		○	○		a:情報を伝えるように積極的に授業に取り組んでいる。 b:情報の受け取り手にわかりやすくなるように情報を編集する工夫ができている。 c:文書作成ソフトの基本操作ができている。 d:情報を受け取り手にわかりやすくする工夫について理解できている。	ワークシート採点 制作物の観点別評価
3学期	勝高2年みんなのアンケート作成	・表計算ソフトの操作方法 ・グラフの利用 ・グラフと印象操作の関連 ・情報の価値についての判断		○	○		a:アンケート作品を完成させられるように授業に取り組むことができている。 b:アンケートの結果をわかりやすく伝えるための工夫について考えられている。 c: 文書作成ソフトの基本操作ができている。 d:グラフの特性について理解できている。	ワークシート採点 制作物の観点別評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。